

お知らせ

同時資料提供

山口県政記者クラブ 山口県政記者会 山口県政滝町クラブ 防府記者クラブ 防府市政クラブ

「平成26年度 風水害対策訓練」 を実施します

国土交通省中国地方整備局では、梅雨、台風等による風水害に備えて、防災体制に 万全を期するため、災害情報等の迅速かつ正確な収集と伝達及び的確な指揮・対策 を行うことを目的とし、管内において災害対策訓練を実施します。

山口河川国道事務所では、山口県内を対象とした訓練を、以下のとおり実施します。

- ■訓練日時 平成26年5月28日(水) 9:30 ~ 16:00
- ■訓練場所 山口河川国道事務所 別館 3F 災害対策室 山口県防府市国衙1丁目10-20
- ■主な訓練内容
 - ①災害対策支部(山口河川国道事務所)と災害対策本部(中国地方整備局)及び関係機関との情報伝達演習(災害状況及び復旧方法を伝達)
 - ②関係市町村へのリエゾン派遣等による関係機関との連携強化と情報共有
 - ③緊急復旧対応(被災箇所の緊急復旧対応訓練)
 - ④広報資料の作成訓練
 - *取材について

訓練は全て公開で実施します。訓練中の撮影は可能です。

■問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 山口河川国道事務所

ともざわ しんいち

副所長 友沢 晋一

(担当) 防災課長 西村 昌己

電話番号 (0835)22-1795 (防災課直通)

平成26年度 風水害対策訓練の実施について

1. 訓練の目的

本訓練は、梅雨、台風等による本格的な出水期を迎えるにあたり、災害状況等の迅速かつ正確な収集と伝達、及び的確な指揮・対策に関する訓練を行うと共に、各種機器の点検も併せて実施し、二次災害・被害拡大の防止、円滑な復旧・復興に資するとともに、ひいては国民の安全、生命及び財産の保全を目的として実施するものです。

2. 訓練想定

山陰沖に停滞している前線と台風の影響により、中国地方各地で暴風、 大雨となり、特に広島県内、島根県西部において暴風や大雨、波浪に見 舞われました。

これに伴い、山口河川国道事務所において、5月27日22時00分、大雨洪水暴風波浪警報が山口県全域に発令されたという想定のもと、河川及び道路で災害が発生した場合の訓練を実施します。

特に、今回の訓練では、以下をポイントとして行います。

■訓練のポイント

- ①災害情報の収集・伝達の手段・方法伝達系統等、災害対応に必要な 基礎的事項の再確認
- ②自治体への現地派遣連絡員(リエゾン)派遣による関係機関との連携強化と情報共有

3. 訓練参加機関

山口河川国道事務所 自治体(山口県、防府市)

4. 訓練の中止・変更等

訓練の当日、降雨等により 防災体制をとる必要が生じた場合は、訓練を中止又は延期する場合があります。



平成26年 5月21日

お知らせ

同時資料提出先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会 岡山県政記者会、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、 山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、 中国地方建設記者クラブ

国土交通省 中国地方整備局 平成26年度 風水害対策訓練を実施します

国土交通省中国地方整備局では、梅雨、台風等による風水害に備えて、防災体制に 万全を期するため、災害状況等の迅速かつ正確な収集と伝達及び的確な指揮・対策を 行うことを目的とし、下記のとおり管内において災害対策訓練を実施します。

- 〇訓練日時 平成26年5月28日(水) 9:30~16:00
- 〇訓練場所 広島合同庁舎2号館8階 災害対策室 他管内全事務所(25事務所)
- ○主な訓練内容(主な訓練スケジュールを参照)
- ○主なとりくみ
- ①即時・即応性の確立に向けて、災害情報の収集・伝達の体制・方法・手段、災害対応に必要な内容の実効性について検証。
- ②土砂災害防止法に基づき、大規模な天然ダムの形成による土砂災害緊急調査の実施
- ③広島県、安芸高田市、三次市等関係市町村への<u>現地情報連絡員(リエゾン)派遣</u>による関係機関との連携強化と情報共有。
- ④災害応急対策業務に関する協定等に基づく要請の確認及び防災関係機関との情報共 有訓練。
- ⑤Ku-SATI(衛星小型画像伝送装置)を活用した機動的な情報共有及び排水ポンプ車等災害対策機械の出動訓練を実施。
 - ※訓練のイメージは別紙-1参照

〇問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

電話番号(082)221-9231(代表)

(担当) 企画部 総括防災調整官 岸 本 芳 雄 (直通:082-511-6160)

防 災 対 策 官 常 松 宏 (直通:082-511-6098)

(広報担当窓口) 広報広聴対策官 坂本 繁幸 (内線2117) 企画部 環境調整官 田尾 和也 (内線3114)

【取材について】

- 1. 取材については中国地方整備局及び管内全事務所のみとし、その他の関係機 の取材はご遠慮願います。
- 2. 訓練は全て公開で実施します。訓練中の撮影は可能です。ただし、訓練の妨げにならないよう、担当者の指示に従ってください。 3. 庁内への入館は、別途入館の手続きが必要となりますので、余裕をもって来庁
- 下さい。
- 現場から送信された画像情報(ヘリテレ画像等)は、中国地方整備局災害対策本部でご覧になれます。 訓練の当日、防災体制をとる必要が生じた場合は、訓練を中止する場合があり

1. 訓練の目的

本訓練は、梅雨、台風等による本格的な出水期を迎えるにあたり、災害状況等の迅速 かつ正確な収集と伝達、及び的確な指揮・対策に関する訓練を行うと共に、各種機器の 点検も併せて実施し、二次災害・被害拡大の防止、円滑な復旧・復興に資するとともに、 ひいては国民の安全、生命及び財産の保全を目的として実施するものです。

今回実施する管内災害対策訓練は昭和58年から毎年梅雨期前に実施しており、中国 地方整備局内の的確な情報収集伝達の訓練はもとより、防災参加機関と連携した広域的 な訓練を実施するものです。

2.訓練日時

平成26年5月28日(水) 9時30分~16時00分

3. 訓練参加機関及び参加者

中国地方整備局及び管内全事務所、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、広島 市、岡山市、安芸高田市、三次市、呉市、境港管理組合、陸上自衛隊中部方面総監部、 陸上自衛隊第13旅団、第六管区海上保安本部、第七管区海上保安本部、第八管区海 上保安本部、中国運輸局、国土地理院中国地方測量部、気象庁広島地方気象台、NH K広島放送局、(一社)中国建設弘済会、(財)河川情報センター、(一社)日本建設機械施 工協会、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)日本建設業連合会、(一社)建設コンサルタン ツ協会、(一社)河川ポンプ施設技術協会および「中国地方の防災に関する連絡会」構成 機関

4. 訓練場所

広島合同庁舎2号館8階災害対策室 他管内全事務所(25事務所)

5. 訓練想定

太平洋北西部で発生した台風2号は西に向かいながら、「大型で強い勢力」に発達 し、その後進路を北寄りに変えながら5月27日沖縄本島付近を通過した。28日0 時頃には長崎県長崎市付近に上陸したものの、大型で強い勢力を保ったまま28日4

時に山口県防府市付近に再上陸した。台風はその後、北東へ進み28日7時00分頃 米子市付近で日本海に抜けた。

この間、山陰沖に停滞している前線と台風の影響により、中国地方各地で暴風、大雨となり、特に広島県内、島根県西部において暴風や大雨、波浪に見舞われた。

これに伴い中国地方整備局管内では、三次河川国道事務所管内、浜田河川国道事務所 管内、広島港湾・空港整備事務所管内において、堤防決壊や土砂崩落による国道の通行 止めなど甚大災害の発生を想定した訓練を実施。

6. 主な訓練スケジュール

時刻	実 施 内 容 等
5月28日 9:30頃	本局(8階)に災害対策本部設営局長訓示(訓練開始)
9:35頃~	【広島地方気象台】これまでの降雨状況、今後の予報について情報提供
9:45頃~	・【ヘリテレ】庄原市山中に発生した土砂天然ダムの状況報告
9:50頃~	• 備北丘陵公園内で発生した被災状況報告
10:00頃~	国道54号(57k600付近)において法面崩落の状況報告
10:30頃~	・江の川堤防(左岸167k400付近)において漏水発見報告
10:40頃~	・広島港宇品地区の被災状況報告
11:00頃~	• 【国土地理院中国地方測量部】整備局からの要請に基づき被災箇 所周辺の地形図の提供
11:30頃~	・江の川堤防(左岸167k400付近)において堤防決壊
(12:00~ 13:00)	(休憩)
13:00頃~	• 【中国運輸局】被災箇所の公共交通機関の運航状況等について情報提供
13:55頃~	• 【ヘリテレ】江の川堤防決壊箇所においての応急復旧状況報告
15:15頃~	• 本部会議(各班から今後の対応等について報告)
15:45頃	• 講評
16:00	• 訓練終了

- ※1訓練の進行により、実施時間・内容を変更する場合があります。
- ※2地整防災ヘリは、天候の不順、災害の発生、救援要請等により、中止する場合があります。